

経済産業大臣

林 幹雄 様

要 請 書

- 1 原子力発電所の再稼働に係る要請事項への対応について
- 2 「もんじゅ」の課題解決について
- 3 エネルギーミックスの実現方針の明確化について

平成27年11月12日

福 井 県

福井県政の推進につきましては、日ごろから格段の御配慮、御支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

わが国は、現在、急速な少子高齢化と本格的な人口減少時代に突入しています。人口減少と東京一極集中は、わが国の最重要課題であり、日本の国力を維持、強化するためには、抜本的な少子化対策とあわせて、地域の魅力を活かした誘客・移住の促進など地方への新しい人の流れをつくり、地方創生を強く進めることが必要です。

また、大規模災害への備えやエネルギーの安定供給、交通インフラのミッシングリンクの解消など日本海国土軸を形成し、太平洋側に偏った国土軸を複軸化・強靱化することが、喫緊の課題となっています。

本県は、幸福日本一の県として、豊かな自然、文化、伝統、人と人とのつながりなど、かけがえのない魅力に恵まれています。こうした福井の「宝」を最大限に活用し、県民の暮らしの質を高め、希望と創造のふるさとづくりを全力で進めているところです。

次に掲げた事項は、いずれも地方の活力の増進はもとより、わが国の成長と発展に必要不可欠な事項ですので、その実現に特段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年11月12日

福井県知事 西川 一誠

1 原子力発電所の再稼働に係る要請事項への対応について

関西電力高浜3、4号機の再稼働については、本年2月に本県が要請した事項について、政府が責任を持って対応すること。

特に、原子力発電の重要性・必要性に対する国民理解の促進については、今もなお、原子力発電の再稼働に明確な理解と意思を持たない国民が数多くいる状況であり、政府が国民に対し強いメッセージを発すること。

(再稼働に係る国への要請事項)

- ①原子力発電の重要性や必要性に対する国民理解の促進
- ②中間貯蔵施設の県外立地に係る国の積極的関与
- ③エネルギーミックスの明確化
- ④福島事故を教訓にした事故制圧体制の強化
- ⑤地元雇用・地域経済への対応

2 「もんじゅ」の課題解決について

「もんじゅ」については、高速増殖炉の研究開発と放射性廃棄物の低減・低毒化研究を行う核燃料サイクル政策の中核施設として、政府が昨年4月、「エネルギー基本計画」を閣議決定しており、政府の責任において課題を明らかにし、解決する必要がある。

しかしながら、現状の政府の体制の下では、解決が困難な状況であることから、研究開発の成果が十分上げられるよう、新たに、経済産業大臣、文部科学大臣など関係閣僚による政府の責任体制を整備すること。

3 エネルギーミックスの実現方針の明確化について

エネルギーミックスにおいて示された原子力発電の構成比率を実現するため、原子力発電所の廃炉、40年超運転、安全性を徹底的に高めた安全炉への転換など、ミックス実現に向けた今後の具体的方針を明らかにすること。